

ハートランド平尾台株式会社

I 法人の概要（令和7年4月1日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉南区平尾台一丁目1番1号
- 2 設立年月日 平成8年4月1日
- 3 代表者 代表取締役社長 吉本 圭介（令和7年6月25日就任）
- 4 資本金 91,200 千円
- 5 その他資本金に準ずる額 73,838 千円
- 6 北九州市の出資金 39,903 千円（出資の割合 24.18%）
- 7 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	9 人	0 人	1 人	8 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	8 人	0 人	0 人	8 人
職 員	13 人	0 人	1 人	12 人

II 令和6年度事業実績

1 事業の経過及び成果

(1) 経過

令和6年度は、宮崎牛グランドチャンピオン農家直営のレストランを導入しメニューを一新することで食の魅力を強化するほか、チョークで自由に絵を書ける「落書きエリア」、平尾台アスレに落差6mの遊具「チューブスライダー」の設置、愛犬家のニーズに応えるため、7月から9月中旬の土日の利用時間を延長した「早朝・夕暮れドッグラン」の実施など、利用者サービスの向上に取り組んだ。さらに、新規利用者集客のため、4月に「メディア関係者向けツアー体験」、5月に小倉駅発着バスツアー「食と体験 平尾台満喫ツアー」を開催するほか、9月の北九州市国内観光客等誘致促進協議会主催の旅行会社セールスで、商談会（広島・岡山・高松・福山）やエージェントセールスを行うとともに、約40団体の事業者が加盟する「西日本ネットワークの会」「旅行業の登録」を活かした取り組みも進めた。

一方で、原油価格の高騰による諸物価の上昇により、電気料金をはじめとした公共料金や燃料費、商品の仕入費などの経費、また、開園以来20年以上経過した設備や施設の修繕にかかる経費は増加している。

このように、厳しい状況が続く中、集客のための積極的な設備投資を行うと同時に、運営経費の削減にも取り組みながら、積極的な営業活動を行っている。

(2) 成果

- ① 「平尾台自然の郷」の入園者数 234,663 人（令和5年度 258,566 人）

入園者数は、前年度対比で、23,903 人減、9.2%減となった。

- ② 「福岡県平尾台自然観察センター」の入館者数 0 人（令和5年度 11,624 人）

令和5年9月から令和7年5月16日までリニューアルオープンのため休館

③ 売上・利益

売上高は、219,741 千円、経常損失は、13,652 千円となった。法人税等控除後の当期純損失は、14,005 千円となった。

2 主な事業実施状況

(1)「平尾台自然の郷」

① PR 活動

- ・春、夏休み、秋の行楽シーズンに焦点を当てた営業・広報活動を実施した。
- ・SNS（Instagram、Facebook、TikTok、X）を使った広報活動や、YouTube（ライブカメラ）によりタイムリーな広報に努めた。
- ・平尾台全体の PR につながるアウトリーチ活動を関係団体や施設と共同で実施した（西日本陶磁器フェスタ、東谷フェスティバルなど）。

② 各種事業の実施（新規分）

- ・令和6年4月、レストランをリニューアルオープンし、宮崎牛を使用したハンバーグランチやカレーなどメニューを一新した。（利用者 15,636 人）。
- ・令和6年4月、チョークで自由に絵を書ける「らくがきエリア」の整備をした。
- ・令和6年9月、平尾台アスレに「チューブスライダー」を増設した。
- ・地元農業団体と連携して、春から秋にかけて地元産の野菜の販売を行った。
- ・高原音楽堂の利用促進策として近隣中学校等の吹奏楽部と協働で音楽イベントを開催した。
- ・園内で親子参加型の謎解きスタンプラリーを開催した。
- ・暑い時期（7月上旬から9月上旬）の土日の利用時間を朝5時から21時まで延長する「早朝・夕暮れドッグラン」を実施した。

③ 各種事業の実施（継続分）

- ・ペルセウス座流星群鑑賞会、初日の出、平尾台お月見会などの天体観測イベントを開催した。
- ・学校との連携イベントとして、小学校環境アクティブラーニング、中学校野球部対抗駅伝大会、地元小学校環境学習などを開催した。
- ・地域との協働イベントとして、観光祭、野焼きへの参加や協力、新米まつりなどの開催を行った。
- ・平尾台の特色を活かしたイベントとして、ガイドツアーを実施した。
- ・スポーツイベントとして、トレイルランニング、クロスカントリー、北九州サイクルフェスティバルを実行委員会に参画して開催した。
- ・その他のイベントとして、根菜類の収穫体験などを実施した。
- ・西日本旅行ネットワークの会を活用し、交通事業者や旅行会社、宿泊施設などと連携、認知度の向上を図るとともに旅行商品の造成を働きかけた。
- ・「バッテリーカー」に加え、大人も利用できる「バギーカー」を配置し、子供も大人も楽しめるアイテムを増やした。

(2)「福岡県平尾台自然観察センター」（令和5年9月から令和7年5月16日までリニューアル工事の為休館）

- ・リニューアルオープンに向け、パンフレットやホームページのリニューアルを行った。
- ・休館中も情報提供の総合窓口として、登山者や観光客への案内を行った。
- ・野外イベントとして、登山（周防台、塔ヶ峯、貫山など）、観察会（野草、きのこ、野鳥、昆虫・洞窟の生き物など）、ケイビングなどを実施した。

Ⅲ 令和6年度決算

1 貸借対照表（総括表）

令和7年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	132,821,309	流 動 負 債	16,826,858
現 金 預 金	101,227,600	買 掛 金	330,120
売 掛 金	17,531,504	未 払 金	3,030,018
商 品	2,015,773	未 払 費 用	6,247,589
食 材 品	21,357	預 り 金	657,031
貯 蔵 品	351,711	未 払 法 人 税 等	328,500
焼 酎	2,192,386	未 払 消 費 税	6,233,600
前 払 費 用	597,786	引 当 金	3,676,923
立 替 金	62,629	賞 与 引 当 金	3,676,923
仮 払 金	27	負 債 の 部 合 計	20,503,781
未 収 入 金	5,620,536	純資産の部	
保 証 金	3,200,000	科 目	金 額
固 定 資 産	122,878,089	資 本 金	91,200,000
（有形固定資産）	(122,586,889)	資 本 剰 余 金	73,837,619
建 物	5,282,171	資本準備金	22,800,000
建 物 付 属 設 備	4,344,065	その他資本剰余金	51,037,619
構 築 物	49,114,188	利 益 剰 余 金	70,157,998
車 両 運 搬 具	8	繰越利益剰余金	70,157,998
工 具 器 具 備 品	9,553,075	株 主 資 本 合 計	235,195,617
一 括 償 却 資 産	465,978	純 資 産 の 部 合 計	235,195,617
土 地	53,827,404		
（無形固定資産）	(291,200)		
電 話 加 入 権	291,200		
資 産 合 計	255,699,398	負 債 及 び 純 資 産 合 計	255,699,398

2 損益計算書（総括表）

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	（営業損益の部）		
	営業収益		219,741,514
	売上高	219,741,514	
	営業費用		232,880,713
	売上原価	9,308,618	
	販売費及び一般管理費	223,572,095	
	営業損失		13,139,199
	（営業外損益の部）		
	営業外収益		
	受取利息	79	
	雑収入	6,030,646	6,030,725
	営業外費用		
	雑損失	6,543,541	6,543,541
	営業外利益		▲512,816
	経常損失		13,652,015
	税引前当期純損失		13,625,015
	法人税、住民税及び事業税		353,111
	当期純損失		14,005,126

IV 令和7年度事業計画

1 「平尾台自然の郷」

(1)新たな取組み

- ①園内のキッズスペース広場に新たに日陰施設を増設する。
- ②令和6年度に「地域資源活用に関する包括連携協定」を締結したみやこ町の木材で、遊具や木のおもちゃなどを製作し、園内の施設を充実させる。
- ③園内の移動手段として、新たに7人乗りのトゥクトゥクを運行する。さらに、ナンバーを取得し、平尾台を周遊できるガイドツアーを検討する。
- ④園内にコンテナやトレーラータイプの宿泊施設の設置を検討する。また、災害時にペットと一緒に過ごせる避難所として活用することも視野に入れる。
- ⑤アメリカンドッグやチキンカツなど食べ歩きできるメニューや、麦わら帽子やサンダル、ボトムスなど季節商品の販売を強化する。
- ⑥北九州市が推進する生物多様性戦略に参画し、ネイチャーポジティブセンターの構成施設として、自然体験ツアーや自然と触れ合えるイベント等に取り組む。
- ⑦「手ぶらで BBQ」や焚き火で焼き芋やマシュマロが体験できる（仮称）サマーナイトパークなどを実施する夜間イベントの強化や、夕方からペットと一緒に入園できる「ペットデー」を設ける。
- ⑧市内外の企業や自治体等が利用できる昼食付バスツアーや、福岡県主催のバスツアー「よかバス」、西日本旅行ネットワーク会の参加企業を中心に、九州を周遊するスタンプラリーの実施を行う。
- ⑨福岡都市圏から北九州市（平尾台）へのインバウンドの誘客を図るため、「NowMap2025」春夏号に広告を掲載する。

(2)PR 活動

SNS の活用や YouTube（ライブカメラ）によりタイムリーな広報に努める。

(3)早朝・夜間イベントの開園

ペルセウス座流星群観測会、初日の出、月見会など、早朝・夜間イベントを開催する。

(4)自主事業の収益改善

バッテリーカー、バギーカーを増車、家族で楽しめるアイテムの充実によりサービス向上を図る。

(5)ボランティアの拡充

新規募集と研修により平尾台で活動する各種ボランティアの拡充を図る。

(6)各種イベントの開催

天体観測やスポーツ大会、地域と協働したお祭りや陶芸等の体験教室の充実を図る。

2 「福岡県平尾台自然観察センター」

(1)施設のリニューアル

地元の来賓、子ども、ボランティアが参加する記念式典を実施する。さらに、ファミリー向け自然観察会、館内ガイド、記念限定グッズのオリジナルファイルの配布などを実施する。

(2)ボランティアの育成

新規ボランティアの確保に努め、ガイドやフィールド整備の研修を実施する。

(3)自然保護意識の醸成

年間を通して自然と触れ合うイベント等を行い、カルスト台地特有の自然とその希少価値を意識することにより、自然保護意識を醸成する。

V 令和7年度予算

1 予定損益計算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日（単位：千円）

勘定科目	令和7年度予算
(営業損益の部)	
売上高	253,032
売上原価	229,088
一般管理費	23,538
営業利益	406
(営業外損益の部)	
営業外収益	386
受取利息	0
その他営業外利益	386
営業外費用	132
営業外利益	254
税引前当期利益	660
法人税・住民税及び事業税	164
当期利益	496

VI 役員名簿

令和7年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	吉本圭介	イキイキフーズ(株) 代表取締役社長
取締役	小野勝也	北九州市 都市戦略局長
//	日々谷健司	北九州市 小倉南区長
//	三善 顕	UBE 三菱セメント(株) 九州工場事務部長
//	根石紀雄	(株)ユアーズ 代表取締役社長
//	木村徹哉	住友大阪セメント(株) 小倉事業所副所長兼業務グループリーダー
//	壹岐尾恵美	株式会社かいこ 代表取締役社長
//	加茂野秀一	前代表取締役
監査役	岩男英徳	(株)西日本シティ銀行 取締役 常務執行役員 北九州総本部長